

# みらい



No. 7

主な内容

令和4年

2月・6月議会 要旨報告

討議資料

発行・編集責任者/  
渡部 英治

## 誰もが住みよさを実感できる 県政をめざして!



秋田県議会 建設委員  
会派みらい 代表

渡部 英治



健康増進活動にて主催者挨拶する渡部県議

連日厳しい暑さが続いておりますが、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染は「第7波」に入り、県内においても過去最多を更新し、感染警戒レベルも2に引き上げられました。

現時点では、県の基本姿勢として、これまでの基本的な感染症対策と社会経済対策の両立を進めることとしております。これから迎えるイベントやお祭りが、主催者はもとより参加者も感染防止対策の徹底により、実施出来ることを願っています。

一方、本県の最重要課題である「人口減少・少子高齢化」については依然として歯止めがかからず、7月1日現在の県人口は93万3,056人と、この1年間で1万4,296人が減少しています。自然減が1万6,222人、社会減が2,308人で、出生者の減と転出者の増が人口減少の大きな要因であります。

本年度よりスタートした「新秋田元気創造プラン」では、人口減少問題の克服を前面に打ち出しており、これまでも様々な施策を総合的に展開してきました。しかしながら、「人口減少対策に特効薬はない」という、どこか諦めムードがあったような気がします。

今、求められるのは、秋田の良さ・魅力、他県に比べて災害の発生も少ない、といった「住みよさ」をアピールするとともに、若者や女性が地元に着定できる重点的な取組みが不可欠であります。

誰もが住みよさを実感できる県政を目指して、山積する課題克服へ果敢にチャレンジしてまいります。

皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 2月議会

令和4年・第1回定例会  
2月14日～3月18日

令和4年度当初予算は、「新秋田元氣創造プラン」の初年度として、時代の潮流や社会経済情勢の変化に対応する6つの重点戦略に基づく施策・事業を中心に編成し、特に、「資金水準の向上」、「カーボンニュートラルへの挑戦」、「デジタル化の推進」の3つの選択・集中プロジェクトに加え、「若者・女性の活躍の推進」について、横断的・集中的に取り組むこととした。また、新型コロナウイルス感染症への対策については、引き続き医療提供体制等の確保や県内経済の下支えに取り組むが、一部国の制度内容が未確定なものについて、今後、制度の詳細が明らかになり次第速やかに追加提案する予定である。

## 当初予算の主な内容

- 資金向上関連融資事業 …… 29億 350万円
- ① ① 資金水準向上資金貸付事業【資金水準向上資金】  
生産性の改善や規模拡大により、資金水準の向上に取り組む中堅以上の企業が行う社債による資金調達に対し、保証料を支援する。
- ② ② 新事業展開資金貸付事業【事業革新資金 資金水準向上枠】  
資金水準の向上に取り組む中小企業に対して支援する。
- ③ ③ 新事業展開資金貸付事業【事業承継資金】  
M&Aや第三者承継に取り組む中小企業に対して支援する。
- ④ ④ あきたの魅力ある水田農業確立対策事業 …… 12億 7,815万円  
本県の水田農業の発展を図るため、秋田米のシェアの維持・確保に向け、「秋田米生産・販売戦略」に基づき、低コスト・省力化を推進するとともに、需要に応じた米づくりの展開を図る。
- ⑤ ⑤ 航空需要回復・新規開拓事業 …… 4億 8,130万円  
コロナ禍で落ち込んだ航空利用の速やかな回復を図るとともに、大館能代空港の3往復運航の定着に必要な規模の航空需要を開拓するため、利用促進策を重点的に実施する。

令和4年度 一般会計 当初予算  
5,886億 4,000万円

- ⑥ ⑥ 咲きほこれ！あきたウーマンパワー応援事業 …… 1,808万円  
女性が個性や能力を十分に発揮できる社会を構築するため、女性自身の意識改革や経営者等の理解促進に向けた取組を行うほか、男女共同参画の推進に資する主要なリソースの連携強化を図る。
- ⑦ ⑦ 介護・障害福祉サービス事業等 職員処遇改善支援事業 …… 16億 5,170万円  
新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く方々の処遇改善を図るため、賃上げに要する費用に対し助成する。
- ⑧ ⑧ デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業 …… 1億 917万円  
デジタル社会で活躍する人材を育成するため、最新のICT教材やIT専門人材を活用した高校教育を推進する。

## 2月議会 代表質問



三浦 茂人【秋田市】

- 新秋田元氣創造プランについて
- 大型国産材製材拠点の新設について
- 里親等への支援について
- 新スタジアム整備について
- 新型コロナウイルス感染症対策について

## 2月議会 一般質問

佐藤 正一郎

【湯沢市・雄勝郡】

- ◆ 知事政治姿勢について
- ◆ 将来の県人口の見直しについて
- ◆ 県民所得の向上と産業振興について
- ◆ 今後の新型コロナウイルス感染症への対応について

鳥井 修【秋田市】

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策への取組について
- ◆ 資金水準の向上について
- ◆ 脱炭素社会の実現に向けた政策について
- ◆ 洋上風力発電について

## 2月議会 総括審査

東海林 洋【湯沢市・雄勝郡】

- ◆ 資金水準向上の具体策について
- ◆ 再生可能エネルギーの県内活用について
- ◆ 秋田県多様性に富んだ社会づくり基本条例案について
- ◆ 飲食店支援事業等のコロナ対応支援について

吉方 清彦【能代市・山本郡】

- ◆ ウクライナ侵襲による本県への影響について
- ◆ コロナ禍における本県行政の事業継続計画（BCP）について
- ◆ 洋上風力発電実施事業者の決定を受けた今後の見直しについて

# 6月議会

令和4年・第1回定例会  
5月27日～6月21日

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応に要する経費のほか、新秋田元氣創造プランに基づく事業、公共事業等について計上した。また、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等に要する経費について計上した。

## 6月補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症自宅療養者給付金事業 …… 21億 6,250万円  
オミクロン株による感染の拡大に伴う自宅療養者の増加を踏まえ、給付金の支給に要する経費を増額する。
- 休業観光施設維持管理等事業 …… 4,563万円  
新型コロナウイルス感染症の影響により営業を休止する県営秋の宮山荘の維持管理を行うとともに、次期指定管理者による円滑な営業の再開に向けた誘客促進等を行う。
- 秋田牛輸出促進コンソーシアム促進対策事業 …… 928万円  
輸出拡大による生産者の収益性向上等を図るため、台湾における秋田牛のプロモーション活動等の取組を支援する。
- 新複合化相談施設整備事業 …… 2億 750万円  
資材価格の上昇や軟弱地盤への対応などに伴い、建築工事費を増額する。

令和3年度  
一般会計 補正予算 145億 9,814万円  
補正後の規模 6,286億 5,184万円

- 生活福祉資金等貸付事業 …… 3億 4,953万円  
新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活費を必要とする世帯を対象とした生活福祉資金の特例貸付の原資を増額する。
- 燃料価格高騰に係るトラック運送事業者への緊急支援事業 …… 4億 4,110万円  
燃料の価格高騰の影響を受けている県内トラック運送業者の負担軽減を図るため、燃料費の一部について支援する。
- 畜産経営維持緊急支援事業 …… 6億 3,795万円  
飼料や燃料の価格高騰の影響を受けている畜産経営体の負担軽減を図るため、生産規模の維持に向けた取組を支援する。

## 6月議会 一般質問



吉方 清彦【能代市・山本郡】

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の「後遺症」について
- ◆ 歯科保健対策について
- ◆ 県内高等学校への給食提供について
- ◆ フードバンクへの支援について
- ◆ 地域活性化とまちづくりに向けた起業等への支援について
- ◆ 育てる漁業の今後について



三浦 英一【曲利本荘市】

- ◆ 知事政治姿勢について
- ◆ 脱炭素社会の構築について
- ◆ 農業問題について

## 6月議会 総括審査



渡部 英治【大仙市・仙北郡】

- ◆ 新型コロナウイルス対策について
- ◆ あきた芸術劇場ミルハスについて
- ◆ 水田活用の直接支払交付金の見直しについて

鳥井 修【秋田市】

- ◆ ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域の持続可能な発展に向けた取組について
- ◆ 電力需給ひっ迫について
- ◆ 新県立体育館の整備について

## 会派県外調査

（福岡県・宮崎県・鹿児島県／令和4年4月11～14日）

調査項目

- 中国木材(株)日向工場について
- 鹿児島県志布志港について
- 博多港について
- 北東北3県アンテナショップについて（福岡市）



中国木材(株)日向工場（日向市竹島町）

土谷 勝悦

【根手市】

令和4年・第1回定例会  
6月議会  
福祉環境委員会にて

- ◆ ツキノワグマ対策について質疑

# 渡部 英治の 県議会レポート

今回は、令和4年6月議会総括審査より「水田活用の直接支払交付金の見直しについて」の質疑の概要（抜粋）を報告します。



令和4年6月議会 総括審査にて

## ●水田活用の直接支払交付金の見直しについて



渡部

唐突とも言える国の方針に戸惑いや不安、不信感を抱いている農家の方も多いと思う。水稲から転換した大豆やソバなどの作物は助成金で経営が成り立っている現状にあり、農家からは「ハシゴをはずされた感じがする」との声も聞かれます。

佐竹知事も農業現場が混乱しないよう、国に対して申し入れしていますが、この際、水田機能を維持した圃場は助成対象にすることや、5年間の条件をもっと長くすることなども要請すべきでは。



知事

名前が「水田活用交付金」なんです。だから、水田が根っこにあるんです。この問題に相当全国からクレームがついて、全くこのまま強行されることは、私はないと思います。

来年度以降に、自民党の方で相当議論されると思う。土地改良区、土地連、全農なども共同で、水田活用を原則としながらも、それ以外にカバーするような方法など、要望活動をしっかりやっていきたい。



渡部

知事に重ねてお伺いします。市町村や農業団体はもとより、全国知事会とタックを組んで、新たな制度の創出についても、国に要望する必要があると思いますが。



知事

農業県の知事方で連携して、今やっています。自民党の農林部会でも、畑作物の生産が定着した水田においては、営農が継続できるような十分な支援措置を行う検討をしています。

これが、別の支援制度があり得るということで、自民党農林部会と農業団体、知事会も一緒になって、農家が困らないような希望を持てるような活動をしっかりやっていきたいと思っています。



## じんぶ 神部副知事を迎えて わたなべ英治県政報告会を開催

去る5月21日(土)、3年振りとなる県政報告会を開催しました。神部秀行副知事より「これからの目指す秋田」のテーマで講演をいただき、渡部県議からは県政課題や地域活性化などへの活動報告と来春に向けての決意表明がありました。